

目標達成計画

作成日: 平成 22年 7月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	調査結果	研修の受講に関しての記録が整備されていない。	きららに入居されてる方々に対してよりよい介助の実践を目指していく為に、福祉推進財団や福祉協議会・各役所などからの研修案内の中から、必要且つ有益と思える研修への参加を積極的に勧めていく。	研修参加が決定した者は、参加日を考慮してのシフト配置を行い、受講後、社内に於いて他の職員に対しての報告及び再研修を受講者が行い、その実施経過を記録に留めていく。	随時
2	36	個人情報保護の為、マニュアルを作成して職員への周知徹底を図るとともに、きららに於いて知り得た情報について、在職中は基より退職後も一切口外しない旨を雇用契約書に明記して、それに対しての了解の意思を署名捺印をもって確約して貰っているが、施設内にきららの方針としての書面掲示を行っていなかった。	即時、作成のうえ掲示を行う。	評価受審の翌日に【個人情報保護方針(A4版)】をラミネート処理し、事務机横に設置してあるコルクボードへの掲示を行った。	即時
3	43	排出に対しての自立支援に関して、現行の排泄介助方法のみに留まらず、入居者のみなさん全てが、自然排便出来るような方法を求めていくことが必要と思われる。	入居者のみなさん全てが、各人だいたい決まった時間に(自然排便)が出来るようになって頂くことを目指す。	「排泄ケア」の研修を重ねつつ、他の施設の方々や識者のアドバイスを求めながら、職場会議等の席上で職員らによる検討工夫を行いながら、きららに適したシステムを構築していく。	12ヶ月
4	60	ご利用者が戸外の行きたいところへ出かける事が出来ているかという点に於いて、必ずしも充足されていないところがある。自立歩行を維持出来ておられる方については、買い物同行・ボランティアさん協力の下での農作業・職員同行での散歩等出来ているが、歩行困難な方については、外出頻度が少ない現状がある。	定期的な外出日(月・1回～2回)を設けるようにしていく。それを応援して頂く為に、ご家族やボランティアさんの協力・応援を仰げる体制を作っていく。	行事予定として外出日を設定してシフト対応を行い、普段外出できない方達の希望を叶えるようにする。それに当たって、同行応援にご協力頂けるようにご家族とも話し合いを行うとともに、市や現在応援下さっている方々に紹介をお願いして新しいボランティアさんの確保に努める。	12ヶ月
5	67	きららが提供させて頂いている介護サービスに対してのご入居者の満足度に於いて、満たされて無い方がいらっしゃると思われる(2/3程度の満足度と思われる)	ご入居者全員、100%の満足度を感じて頂けるところまでは、なかなか到達し難いことと思うが満足頂けてない部分を見逃さないようにしていく。	ご入居者によって運営されている自治会の充実を図っていくことで、不満に感じられている事柄を見逃さないようにし、週1で設けている職場会議の俎上にその問題点を載せて対策を講じていくようにしていく。	12ヶ月 (1年を通じて)